

県西休憩所を購入

茨ト協から 車庫スペースに利用

ヤマニ屋物流サービス

【茨城】ヤマニ屋物流サービス（相良拓弥社長、茨城県境町）は、茨城県トラック協会（小倉邦義会長）が売却先を公募していた「県西トラック休憩所」（結城市）を丸ごと購入した。茨ト協は水戸トラック休憩所（水戸市）も売却先を公募している。

（谷本博）

大幅改修を計画

同社が応募したことで、10月19日から県西トラック休憩所を閉鎖していた。26日には同社と茨ト協との間で売買契約が行われた。同施設は国道4号バイパスの側道脇に位置し、敷地面積5千平方メートル。トラック用駐車場のほか、共用トイレが整備されているが、供用開始から25年が経過し、老朽化が進んでいた。

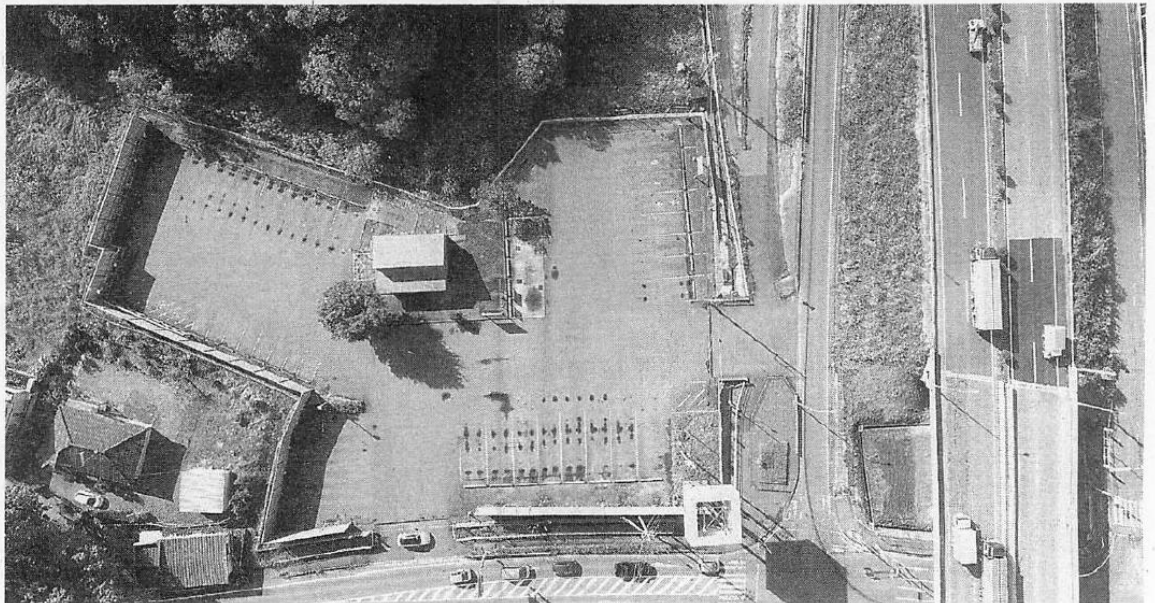
ヤマニ屋物流サービスは小山営業所（栃木県小山市）の車庫スペースとして利用する。事業拡大に伴い、同営業所の車庫用地がオーバーフローの状態だった。同

営業所から直線距離で600メートルの位置にあり、大型車で30台から40台程度の収容が可能。

現在、「茨城県トラック県西休憩所」の看板が掛かっていることから、事情を知らないトラックドライバーが、これまで通り休憩に入ってくるのが予想されるため、入り口を閉鎖したばかり。今後、看板を入れ替えるとともに、車庫申請を行い、早ければ年内にも利用したい考え。

相良社長は「1カ月ぐらいは閉鎖しなければ、より多くの人に周知できないと

思う。トイレが老朽化しており、解体して洗車スペースにする予定だ」と話しており、大幅なリニューアルを計画している。



敷地面積5千平方メートルの県西トラック休憩所（ドローンで上空から撮影）